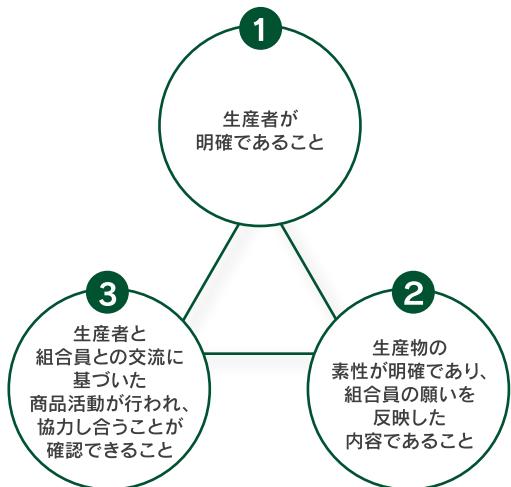




生協の産直は、食の安全を願う組合員と生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、“ともに育てあう”活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。



■ 県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数 (福井県:64) (県外:21)



	22年度	21年度	前年比
産直比率(宅配)	31.4%	33.8%	97.6%
産直比率(店舗)	30.1%	30.7%	99.4%
地産比率	16.1%	16.1%	100.0%



■ 適正農業規範による産地点検

適正農業規範(県民せいきょう版GAP)に基づき、生産者と生協が一緒に年1回点検を行い、農産物の生産から流通の品質や安全性を高めています。

5つのめざすもの

- ①法令遵守と産直活動の理解
- ②農産物の安全性確保
- ③農産物のトレーサビリティ、および適正表示の確保
- ④環境保全型農業の推進
- ⑤農業者の安全と健康の確保



■ 産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行ってています。2022年度は県内の産地をバスツアーで訪問する見学会や学習会、オンライン産地見学会などを開催し、産地の状況や生産者の想いを発信しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



▲石黒農園 野菜苗販売(第1地区)



▲丹生寺坂農園 みそづくり教室(第2地区)



▲渡辺農園梅もぎ体験(第3地区)



▲昇龍 オンライン産直産地見学会